

異臭の分析結果について（令和6年度）

令和6年度に横須賀市消防局が採取した異臭の試料について、県環境科学センターが分析した結果は表1のとおりです。また、検出された有害大気汚染物質の環境基準値は表2、指針値は表3のとおりです。

表1 検出された主な化学物質（ppbv※1）

採取日 ・場所	7月4日（木）		11月2日（土）		
	横須賀市長沢1丁目		横須賀市消防局		
			中央消防署 （横須賀市 米が浜通）	南消防署 （横須賀市 森崎）	三浦消防署 （三浦市初 声町下宮 田）
物質名	有臭※2	無臭※3	有臭※2	有臭※2	有臭※2
イソペンタン	17	6.3	24	45	24
ペンタン	19	6.9	28	52	29
ブタン	46	17	67	128	70
ベンゼン※4	0.68 （=2.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.36 （=1.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	1.5 （=4.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	2.3 （=7.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	1.3 （=4.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）
トリクロロエチレン※4	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
テトラクロロエチレン※4	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
ジクロロメタン※4	0.15 （=0.53 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.22 （=0.78 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.043 （=0.15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.050 （=0.18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.061 （=0.22 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）
アクリロニトリル※5	不検出	0.060 （=0.13 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	欠測	欠測	欠測
塩化ビニルモノマー※5	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
クロロホルム※5	不検出	0.026 （=0.13 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	不検出	不検出	不検出
1,2-ジクロロエタン※5	0.013 （=0.054 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	0.055 （=0.23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）	不検出	不検出	不検出

採取日 ・場所	7月4日(木)		11月2日(土)		
	横須賀市長沢1丁目		横須賀市消防局		
中央消防署 (横須賀市 米が浜通)			南消防署 (横須賀市 森崎)	三浦消防署 (三浦市初 声町下宮 田)	
物質名	有臭※2	無臭※3	有臭※2	有臭※2	有臭※2
1,3-ブタジ エン※5	0.026 (=0.059 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.019 (=0.042 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.36 (=0.80 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.21 (=0.48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.14 (=0.31 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)
塩化メチル ※5	0.51 (=1.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.60 (=1.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.54 (=1.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.45 (=0.94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.60 (=1.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

※1 体積1 m^3 中に1 mm^3 の物質(気体)が存在する状態を1ppbvという

※2 異臭が感じられたときに採取した空気

※3 異臭が感じられなくなったときに採取した空気

※4 有害大気汚染物質であり環境基準値が定められた物質

※5 有害大気汚染物質であり指針値(有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための環境目標値)が定められた物質

表2 ベンゼン等の環境基準値

物質名	環境基準値
ベンゼン	1年平均値が0.003 mg/m^3 (=3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下であること。
トリクロロエチレン	1年平均値が0.13 mg/m^3 (=130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下であること。
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2 mg/m^3 (=200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下であること。
ジクロロメタン	1年平均値が0.15 mg/m^3 (=150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$)以下であること。

表3 アクリロニトリル等の指針値

物質名	指針値
アクリロニトリル	1年平均値が2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化ビニルモノマー	1年平均値が10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
クロロホルム	1年平均値が18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	1年平均値が1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,3-ブタジエン	1年平均値が2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化メチル	1年平均値が94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。